

【大会会場図】



【大会会場の駐車場について】

- ・当日は他の利用者の方もいらっしゃるので、大会に終日参加される方は、消防局側臨時駐車場（25 台）をご利用ください。
- ・駐車場は 9 時から利用可能です ※開館は 9 時 30 分
- ・途中から参加、もしくは途中で帰る予定の方は、通常駐車場を利用してください。
- ・安全な駐車のため駐車場係の指示に従って駐車をお願いします。

【鹿昆忘年会】今年もやります！ふるってご参加ください！

開会:11/22（土）18:00～ ※鹿昆大会当日の夜です

会費：4,700 円

会場:ホテルユニオン(鹿児島中央駅西口近く) 鹿児島市西田 2-12-34 電話 099-253-5800

※会場予約のため、11 月 14 日（金）までに、お名前・人数を下記までご連絡下さい。

長田聖哉(Nagata Seiya) seiya.dragonfly@gmail.com

<感染症対策 ～各自の責任でお願いします～>

- 1) 当日、発熱等の症状がある場合、参加を自粛していただきますようお願いいたします。
- 2) お茶等は準備しません。水分は各自でご準備ください。

鹿児島昆虫同好会

2025年大会



「6月晦日、紅が目を引くハッチョウトンボ」 2025年6月30日

撮影場所:鹿児島市鴨池新町(鹿児島県庁の池) 撮影者:菅谷 月姫

<表紙写真コメント>

梅雨の晴れ間、県庁の池に差し込む光の中、陽に透ける鮮やかな紅の姿がひとときわ輝いていた。それは日本最小のトンボ、ハッチョウトンボ。10年前、松比良邦彦氏が「市街地のオアシス」と評した県庁の人工池。なぜこのトンボが見られたのか。偶然か、それとも環境の変化の兆しか。人工の水辺に息づく小さな自然の営みに心を奪われた。

期日：2025年11月22日(土) 10時15分～15時30分

会場：かごしま環境未来館（多目的ホール・研修室）

2025年 鹿昆大会 プログラム

9:30～ 会場設営（お手伝いいただける方はお願いします）

10:00～10:15 受付 会費納入や記帳をお願いします。※会費納入は昼食時間にもできます。

【午前の部】

10:15～10:25 開会の挨拶 会長：二町一成

10:25～10:45 「小さき訪問者 鹿児島県庁のハッチョウトンボ」

菅谷 月姫（鹿児島大学）・橋口 修平（鹿児島国際大学）

2025年夏、鹿児島県庁では4科18種の多様なトンボと出会った。中でも一際印象的だったハッチョウトンボ。日本一小さなトンボとして知られる小さな訪問者との出会いについて語る。

10:45～11:05 「20年前、吹上浜にオオウスバカゲロウがいた！」 中峯 浩司（県立博物館）

2005年夏、吹上浜で行った灯火採集に飛来したのはオオウスバカゲロウだった。浜崖が進行して様変わりした吹上浜に、今も生息するのか？ウスバカゲロウを追った2025年夏を振り返る。

11:05～11:15 休憩・換気

11:15～11:35 「奄美大島北部のクマゼミの現状～2024年調査報告」 小溝 克己（錦江湾高校）

クマゼミは西日本～南西諸島に広く分布するが、奄美大島周辺に分布の空白があることが報告された（福田1987）。しかしその後いなかったはずの奄美大島や徳之島で発見され、定着しているようである。本発表では奄美大島北部における2024年の調査結果を報告する。

11:35～12:05 「チョウと植物の戦い？～台湾ツバメシジミとアサギマダラで考える～」

福田 晴夫（鹿児島市）

チョウと被子植物はいろいろな関係を深めて共進化した。しかしいつも互いに助け合ってきたわけではない。そこにはむしろ、自分さえ良ければ…という面が強い。食うものと食われるものの戦いは続く。

12:05～13:25 記念写真撮影・昼食・休憩・展示見学・頒布会

【午後の部】

13:25～13:45 鹿昆大賞 表彰式・受賞コメント

一般の部

- ・井上寿昭氏：「迷チョウの飛来する蝶園の建設」

※今年は県本土2例目のルリマダラや、イワサキコノハなど多数の迷チョウが飛来

- ・橋口修平氏：「南薩を中心とした各種昆虫の再記録・新記録」

※タバサナエやカラスシジミの再確認をはじめ、多くの記録をSATSUMAに報告

高校生以下の部

- ・中野煌志氏：「南薩のギンイチモンジセセリ、霧島市のマサキオオツバメガ、スキバホウジャクの記録」

※多くのチョウ屋が通うあの竹山でギンイチモンジセセリを初めて発見し、大幅に南限を更新

高校生発表部門

13:50～14:10 ①「オキナワスジボタルの研究始めました！」

小松 成・南 恋春・八代 龍仁（錦江湾高校1年 ホタル班）

錦江湾高校に隣接する地域で、国内外来種であるオキナワスジボタルが見つかりました。どこに、どれくらい、どのように生活しているかを調べ、本種の影響がどのようなものかを調べようとしています。ご助言ください。

14:10～14:30 ②「ツクツクボウシの屋久島方言を深掘りする」

天川 蒼大・菌田 磨凜・福田 藍・松山 月南（錦江湾高校2年 ツクツク班）

屋久島周辺の5島（屋久・口永良部・黒・硫黄・竹）ではツクツクボウシは後半の「ウィーヨーシー」のフレーズを欠く「屋久島方言」であることが知られている。しかし昨年屋久島方言であるはずの黒島で「ウィーヨーシー」を鳴く個体が確認された。そこで他の島を調べたところ…

14:30～14:50 ③「クロマダラソテツジミの季節型」

川上 創太郎・山下 樹生・山下 花・松本 晴南（鶴丸高校）

クロマダラソテツジミは世代交代が早く、冬が近づくと翅の模様に変化することが知られている。季節型に関わる条件は？日照と気温が関係すると考え、幼虫を各条件下で飼育してみた。

14:50～15:10 「ゴキブリの魅力と多様性について」

市丸 智規（鹿児島大学）

衛生害虫・不快害虫として知られるゴキブリであるが、害虫とされる種はごく一部である。多くの種は森林内に生息しており、南西諸島には固有種や特徴的な種が多く見られる。魅力的で多様なゴキブリたちに加え、近年新たに記載された種についても紹介する。

15:10～15:20 鹿昆10大ニュース2025, 15:20～15:25 事務連絡

15:25～15:30 閉会の挨拶 副会長：江平 憲治, 15:30～ 後片付け, 16:00 戸締り完了

《係分担》【設営・看板・準備】江平・大坪・小溝・小宮・中峯(浩)・中峯(敦)・二町・若松

【受付・会費】中峯(浩)・中峯(敦) 【SATSUMA 配布】小宮 【機材搬入・操作】小溝

【司会・進行】橋口・菅谷 【写真】大坪 【記録・アルボ報告】小溝

【頒布会】若松 【駐車場】江平・大坪 【忘年会】二町・長田

《標本展示・頒布会》※バザーは実施しません。

標本箱や写真を持ち寄り、虫談義に花を咲かせましょう。

昆虫関係の本、採集道具、標本道具、蝶の食草等、提供できるものがあれば当日お持ち帰り下さい。資料や道具の有効なリサイクルと会員の活動の活性化のため、ご協力をお願いします。

《注意》1) 展示にご協力いただける方は、できるだけ9:30までにお持ち帰り下さい。

2) パソコン・プロジェクター等を使用される方は、受付後すぐにデータを機材係にお渡し下さい。パソコンは係が準備します。Power Point 2007です。その場で一緒に動作の確認をお願いします。念のため、可能ならばご自分のPCもご準備ください。

3) 発表時間は質疑応答・交替を含む時間です。スムーズな進行にご協力をお願いします。

4) 配付資料は9:30までに受付に提出してください。または講演前に適宜配布してください。

5) 当日は、受付にて年会費（3000円）も受け付けます。中峯(浩)・中峯(敦)まで。